



第39号

発行



石川県剣道連盟

〒920-0811

金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号室

TEL 076-253-0310 FAX 076-253-0341

E-mail:ishikawa-kendo@iaaitkeeper.ne.jp

URL www/ishikawa-kendo.com

特集記事

2・3頁「剣客往来インタビュー」

金沢市 北川裕美子さん

4頁「ねんりんピック長崎2016」

小松市 竹中隆文

6・7頁「剣道授業の工夫」③

宝達中 中西優登

文部科学省委託事業
「武道等指導充実・
資質向上支援事業」
について



副会長

田上雅治

一 はじめに

本事業は、平成24年度、改訂された学習指導要領が実施され、中学校保健体育で武道の授業が必修化されたことに伴っての事業です。

全日本剣道連盟は、平成25年度より、文部科学省委託事業「武道（剣道）等指導推進事業」としてスタートさせ、平成27年度からは「武道（剣道）等指導充実・資質向上支援事業」として、学校体育における剣道指導に関する支援体制を強化するために、保健体育科教員の指導支援・協力に携わる授業協力者の資質向上と中学校への活用を意図した取り組みです。

二 中央オリエンテーション

各県剣道連盟には、本事業推進の為、全剣連よりコーディネーター2名、実技講師2名が委嘱されています。毎年、コーディネーター中央オリエンテーション（1日）、授業協力者養成講師中央オリエンテーション（2泊3日）が実施され、そこでの講習内容を各県に持ち帰り講習会を開催し伝達しています。

講習内容は、「安全で効果的な剣道授業の展開（DVD付）・ダイジェスト版」テキストを基に実施され、全国共通のカリキュラムで授業を展開することをねらいに講習しています。

○講習会内容

- ・ 中学校武道必修化のねらい。
- ・ 授業協力者に求められること。
- ・ 学校理解、生徒理解、学校との連携、立場と役割、適切な指導のあり方。
- ・ 剣道具のある場合の授業
- ・ 剣道具のない場合の授業
- ・ 木刀や竹刀を活用した例
- ・ リズム剣道による竹刀を活用した例
- ・ 模擬授業等である。

○県教育委員会は、本事業の講習会を

保健体育科教員対象に実施し、剣道授業の指導力向上を図っています。「安全で効果的な剣道授業の展開（DVD付）・ダイジェスト版」については、県剣道連盟より県内全中学校、27年度までに講習会を受講され、全剣連に授業協力者として、登録されている方に配付されています。（登録者数59名）

三 石川県での実施状況

武道の授業で剣道を採用している中学校（公立）は、87校中12校（14%）です。全国では、剣道授業を採用している中学校（公立）は（36.8%）です。授業協力者活用状況について27年度は、2校の中学校が活用しました。

宝達志水町立宝達中学校では授業公開を開催しました。公開日には、全剣連より学校教育委員会委員長、百鬼史訓先生、県剣道連盟会長山下和廣先生、元宝達志水町教育長田畑武正先生、授業協力者、他関係者の参加をいただき、授業参観、授業整理会、

本事業に関する意見交換が行われました。

小松市立松陽中学校では、1年生の剣道の授業20時間、体育科教員と連携して剣道授業に取り組み、成果を上げました。

12月6日、『トップアスリートに学ぶ』で、筑波大学准教授鍋山隆弘先生が、松陽中学校に来校され、1年生2学級の剣道授業で「礼法・発声・足捌き・踏み込み足等」直接指導されました。生徒の1時間の成長が見て取れる分かりやすい指導でした。

28年度は、2校の中学校が活用しています。

輪島市立門前中学校では、1・2年生の剣道授業で体育教員と連携して取り組みました。

小松市立国府中学校では、1・2年生での剣道の授業20時間。学校には授業用の剣道具がありませんので、剣道具のない場合の授業展開に取り組みました。

12月中旬、国府中学校に、『トップアスリートに学ぶ』で、筑波大学准教授鍋山隆弘先生が来校され、剣道授業を指導されます。

四 今後について

全剣連では、本事業を来年度も継続する予定です。

講習会の充実と授業協力者の指導力向上を図り、活用中学校の増加に繋げる所存です。

剣客往未

インタビュー



居合道六段
北川 裕美子さん

北川さんは日々お忙しい生活の中から、居合道に熱心に取り組み、このたびの11月の審査会で見事六段に合格されました。居合道稽古の背景、気持ちの持ち方などをお伺いしたいと思います。

問.. 六段合格おめでとうございます。ご感想をお願いします。
北川.. 昇段させていただけたのは、ひとえに、範士八段武田清房先生のご指導のおかげです、心から感謝申し上げます。また、居合道の皆さん、そして県連の先生方の応援に支えられてきました。ありがとうございました。

問.. 六段受審を決意するにあたって、考えたことなどありましたら、お聞かせください。
北川.. ずっと前、三段に合格した時、武田先生が「明日から四段の稽古や」と言われましたので、ずっとその心構えでいます。四段に合格

した時は、次の日から五段の稽古、五段に合格した時は、次の日から六段の稽古。そう思ってきましたので、受審資格ができた時には、武田先生のお許しをいただけたら、六段を受審する覚悟でおりました。

問.. 審査に臨むにあたって、心掛けたこと、工夫されたことなどお聞かせください。
北川.. 日頃から「全日本剣道連盟居合（解説）」をよく読んで、この解説書に基づいて稽古をしていかなければなりません。受審するとき特に、この解説書の最後に書かれている「審判・審査上の着眼点」、さらに全剣連居合道講習会「指導要点」を一つ一つチェックしながら稽古をしました。また、審査はいつもの稽古着ではなく、「紋付袴」です。早めに用意して、機会あるごとに慣れておくことが必要です。そして、審査には「6分以内」という制限時間があります。タイムを計って時間超過しないように稽古してきました。

問.. 審査当日は、どのような状況でしたか。
北川.. 朝からあわてず、ゆっくり

めに行動していました。特に着装に時間をかけました。会場では、アップの時も人の居合を見ない。自分の「間」が狂いますから。そしてうまくやろうと思わない。指定技が発表されたら、その技の着眼点を思い出して、あとは「やりきる」「最後まで一生懸命やろう」と言い聞かせていました。

問.. 合格後の思いなど、いかがですか。
北川.. 金沢に戻って武田先生に「これから六段位らしくなっていくでしょう、稽古に励みます」とお伝えしましたら、「六段になったことは、もう過去の事！明日から七段の稽古や！...目が覚めました。」

問.. 居合を始められたきっかけ、経緯などお聞かせください。
北川.. 子供たち3人が松任少剣で、剣道と居合道を習っていました。保護者としてお世話をしていたのですが、「おばちゃん、一緒にやろうよ」と団員の子に誘われ、それが嬉しくてがんばってしまいました。その頃から、将来、私がおばあちゃんになった時、剣道・居合道を通して、地域の子供たちの育成

に関われたらと、そんな夢を抱いていました。

県立武道館の剣道教室にも通っていたのですが、稽古前には亡き津雲達雄先生がみっちり剣道形を教えて下さいました。稽古すればするほど、形の面白さと難しさに魅せられていきました。そして、居合の稽古をされていた武田先生、抜きつけた時の「眼」に震え上がり、「形」に命を吹き込んだ居合道の道にとうとう引き込まれていったという訳です。

問.. 居合道修行のご苦労話をお聞かせください。
北川.. 十年ほど前になるでしょうか、行き詰まったことがありました。学生時代にやっていた卓球やバドミントン、テニス...そんな下手な方はなかったと思うのですが、居合では思うように体が使えないのです。すごく悩みましたし、何より自分の居合の姿が大嫌いになりました。やめようか...と思った矢先、ちょっと遊び感覚でやってみた事がありました。テニスの腰の使い方を、この技のここで使ってみたらどうかかな...バドミントンの背骨のしなりを、ここで使ってみたらどうかかな...バスケやフ

ラフープ・・・とにかく自分が体験したのからヒントを掴んで、居合の体の使い方につなげて行きました。まさに自由研究の面白さです。これが私の一人稽古の始まりでした。最近では、新体操のリボンの動きに注目しています。考えてみれば、皆小指の長さも足の長さも違います。先生方からのご指導を、自分の体に合うように工夫するのは自分・・・そう思うと、先生にご指導いただきながら、それを自分のものにするための一人稽古はとても大切だと実感しています。

問..稽古時間の確保について、特に女性・主婦としての生活との両立について、お聞かせください。
北川男女とも、やれる時期もあれば、やれない時期もあります。女性で言えば、やれない時は家族の事を第一に考えて行けばいいと思います。
やれる時期がきたら、稽古場所や稽古日を自分なりに決めて、できるだけ自分を甘やかさず「続けること」がいいと思います。

問..各種大会に臨まれています、大会にあたって心掛けていることなどありましたらお願いします。

北川..私は機会があれば、大会に参加します。「試合に勝つこと」が目的ではありません。先生からご指導いただいたことを、どれだけ人前でやれるか、「自分だめし」です。勝つても内容が悪ければ、自分に腹を立てています。負けても清々しい顔をしている事も多いです。そして全国の素晴らしい選手との技を見えます。帰ってきてからのモチベーションは、相当なものです。「同じ人間なのに、こうも違うなんて」と自分に腹を立てていますから(笑)大会に参加すると、稽古に臨む気持ちが変わってきます。



問..仕事・人生の上で、居合道修行に支えられた、あるいは居合道を修行してきて良かったことなどお聞かせください。

北川..道場の稽古の合間に、穴田龍太郎先生がお茶を入れて下さい

ます。そのお茶はティーパックなのですが、きれいな緑色で香りがとてもいいんです。心が和むんです。武田先生がおっしゃいました「ああおいしい・・・心がこもってる」私はこの時の武田先生のお声が忘れられません。「心がこもる」私はお二人の先生から、諭していただくことが多々ありますが、素直な気持ちになれるのは、その言葉に「心がこもっている」からなんです。それ以来、何をするにも「心がこもる」という言葉が浮かんでくるようになりました。

居合道の修行をしながら、武田先生が居合の技だけでなく、生き方においても、この先の道を示して下さいるように思います。県連会長だった頃の穴田先生のご挨拶の中に「居合は素朴でなければならぬ」とありました。その道に導かれてるように思います。

問..現在、修行に明け暮れている後輩の若い方々へ(特に女性の愛好者に向けて)何かアドバイスをお願いします。

北川..「勝った負けた」というより「土造り」にしっかりと時間をかけて、積み上げて行くと、いつか自

分の花が咲く時が来るのではないのでしょうか。

問..今後、居合道指導者としての役割も増えてくると思われませんが、指導者の立場から普段心掛けていること、または心掛けたいこととは何でしょうか。

北川..県外のある範士の先生が、常に私にこう言われます。「居合には「上手い居合」と「良い居合」があります。「上手い居合」は試合に強いけれど、必ずしも好感の持てる居合とは限らない。「良い居合」は試合には勝てないかもしれないけれど、人から好感が持たれる。北川さんは「良い居合」をするように」と。そうありたいと心がけています。

問..結びに、今後のご自身の居合道修行における目標・抱負・方向性などお聞かせください。

北川..この歳で一生懸命取り組める事があるって幸せに思います。「いつも通り、元気で稽古ができること」それが願いです。膝や腰を痛めないよう、気をつけながら、長く長く居合を続けて行きたいと思っています。

全剣連講習会 (審判法)



事務局長 倉久廣

「審判が良くなれば、試合が良くなり、試合が良くなれば、剣道全体も良くなる。」を指し、本県剣道連盟は「審判員の質の向上」を目的に、全剣連から豊村東盛範士を講師として派遣いただき、県立武道館にて「審判法講習会」を県内各域・職域から72名の参加を得て実施いたしました。

- 一 試合運営に関すること
 - 二 有効打突に関すること
 - 三 三反則 (禁止行為) に関すること
- 等についてお話がありました。

実技指導では、審判員の所作・位置取り・有効打突の見極め等について、金沢星稜大学剣道部員の模擬試合で全員が審判実技を行いました。

豊村講師には、位置取りなど不備な点があると、試合を止めて、その都度親切丁寧にご指導をいただきました。受講生は改めて審判の重要性について考えさせられたと

思います。

閉講式では、審判員は「剣道試合審判規則・細則」「運営の手引き」を熟知していなければならぬこと。現在の自分の剣道の稽古・審判に「まあいいか」と満足してはならないこと。現状に満足すると、向上心が無くなり、剣道が悪くなり進歩が止まってしまう。生涯、自らの稽古の数を掛けること。審判の場数を踏むことが良い審判になる秘訣、等のお話があり、受講生は熱心に聞き入りました。

特集 「ねりんピック長崎 2016」に参加して



小松市 竹中隆文

第29回全国健康福祉祭ながさき大会、剣道交流大会が長崎県五島市で10月15〜17日に開催されました。六十歳以上を対象とした健康

と福祉が目的の大会です。

五月にゆーりんピック大会の県予選を勝ち抜いた選手五名(六十歳〜六十四歳で二名、六十五歳〜六十九歳で二名、七十歳以上から二名・大将)は、副会長の中村監督の下、予選リーグ突破を目指して、ゆーりん稽古会では「先」の二本を目指して稽古をしてきました。

大会は六十六チームが十六ブロックに分かれて予選の二試合を行い、勝数・勝者数・本数で二位のチームが決勝トーナメントに出場します。石川は五チームで争い、一試合目の福島戦は三勝二敗、二試合目の鳥取戦は一勝二敗の本数負けとなり予選で敗退しました。当ブロックからは茨城が勝ち上がり三位、優勝は地元長崎Aチームでした。

本大会の最高齢者は秋田チームの九十一歳の大将の方で選手控え室では、凛とした姿で黙して稽古をご覧になっているのが印象的でした。

宿泊は青森・鹿児島チームと二緒で朝食・夕食は同じ部屋でとり、青森からはリングを、鹿児島からは地元の焼酎を頂き、交流を深めることが出来ました。来年の秋田大会に、出場される方には是非石川の日本酒を持参して欲しいと思



います。

ところで、私は三年前の高知大会で故斉藤監督の下ベスト16入りしました。実は、その直後全身の関節が炎症を起こす病気を発症し、剣道を止めるかと悩みましたが、画期的な薬のお陰で炎症が消え、この春ようやく竹刀を振ることができるようになりました。このようにねりんピックに出場させて頂き剣道の出来る幸せを感じてるところです。

剣道七段に合格して



金沢市 寺西清志

一 剣道再開

持つべきものは友！三年前、高校時代の剣道部同期の近藤先生から、「押水武道館で田畑武正先生が生涯剣道をご指導されているが、君もどうか。」と誘われ、六十歳を過ぎて一念発起し、剣道を再開しました。

二 七段挑戦

田畑先生から生涯剣道の魅力を教えていただいたことから、その過程として、七段に挑戦し始めました。

三 稽古内容

① 一人稽古

まず素振りからと考え、自宅玄関の式台（幅40cm長さ3m）で、一本一本考えながら二人稽古をしました。本数にはこだわらず、納得いくまで稽古しました。

② ひたすら面

とにかくひたすら面を打ち込みました。面の縦金に沿って顎まで打

ち下ろすつもりで、相手の抜き胴や出小手を気にせず面を打ち切るよう心掛けました。先々の先の面を打つこと、動きの中で中心を取ることを目指して稽古しました。

③ 稽古量

稽古は、水曜夜の県警本部基本稽古、土曜早朝の押水武道館稽古を軸とし、審査が近づく火曜夜の県連稽古、金曜早朝の県警金曜稽古会で汗を流しました。短く激しくできるだけ多くの方と稽古するよう心掛けました。

四 今後の稽古目標

今後は、「生涯剣道」を最終目標とし、山下会長からご教示いただいた「自分の剣風作り」、末平範士からご指導いただいた「無心の技」を目指して、修行していきたいと思います。

五 結びに

私をここまで導いていただいた、同志社大学剣道部の先輩穴田龍太郎先生、警察学校の恩師枘谷敏雄先生をはじめ、多くのお世話になった先生方に、心からお礼申し上げます。

剣道六段に合格して



白山市 上村康夫

11月、名古屋の審査会で、初めて六段を受審し、合格させていただくことができました。

五段に落ち続けていた頃、佐藤博信先生著『高段者の剣道』という本に出会いました。本の内容から、特に次の三点を頭に入れ、稽古し、審査に臨んだところ、自分でも信じられないような立会ができました、合格することができました。

一 気が伴えば、打突は偶然ではなく、必然のものとなる。
二 重要なのは気が落ち着いていること、覚悟ができていること。
三 気を込めて間合に入られたら、誰でもじっとしていることとはできないものである。

六段審査に向けて、週三回の稽古を確保するとともに、高段者稽古会にも参加しました。

ご指導いただいたテーマは、『中心を攻めて打つ、相手が来なければ崩して打つ』です。

立会のイメージとして、一構えは力を極力抜き、蹲踞から立ち上がったから小さく一歩攻めて、下腹に気を充満させ発声し、気迫を相手に伝え合気になる。

二 そのまま小さく少しずつ攻めて、先革が交差するところまで行ったら、機を見て竹刀の身幅一分、構えのまま肘の角度を変えず、中心に練り込みながら圧をかけて二足刀の間まで入る。
三 相手が出てきそうだったらすぐ打たず、溜めて打ち切る。相手が出てこなければ崩して打つ。

四 残心を取り、一歩攻める。
このことを地稽古、鏡の前の一人稽古で、身に着けるべく、繰り返ししました。まだまだですが、審査では一本打つことができました。さらに身につけるべく追求し、真の六段を目指します。

結びに、県連、鶴来武道館、県警稽古会の諸先生に深く感謝申し上げます。

**剣道授業における
生徒の意欲を
高める工夫③**



宝達志水町立
宝達中学校
教諭 中西 優登

今回は「一本」につながる打突動作を身に付けるための意欲向上の工夫を紹介します。

【判定試合1】（絶対評価）

判定試合は剣道授業全体の中では後半の方に実施し、学んできた基本技の成果を発揮する場です。

剣道具を着用しない場合（学校に剣道具がない場合や第一学年の授業など）には、かかり手が元立ちの竹刀を打突するかたちで判定試合を行います。

生徒は一本となる打突、気剣体の一致した打突を目指して取り組みますが、ここで問題になるのが「一本」の見極めです。何をもって「気」の条件を満たしているかと判断するのか、どんな時に「剣」の条件が満たされていないと判断するのか、さらに「残心」とは…というふう

に瞬時にたくさんの方を見極めるということは非常に難しいため生徒は困惑します。

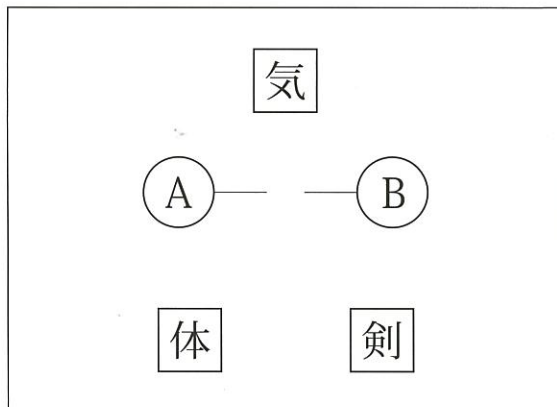


「判定」の場面：生徒はいくつ札が上がるか気になります

そこで剣道授業の試合では三人の審判が気剣体それぞれを役割分担して判定をします。さらに、判定の基準を明確にするため「気」は大きい声が出ているか、「剣」は打突部で打突しているか、「体」は姿勢が崩れていないか+残心をとっているか、というふうにとどの審判が見るのか視点を提示します。かかり手が打突したら、それぞれの審判員は自分の担当している観

点について、条件を満たしていたらカードを上げます。気剣体の条件を満たし、三人そろえば「一本」となります。

判定の基準が明確になっているので、試合者はどのカードが上がっていないかを見て、自分にたっていないものを確認し、今後にかすことができます。



試合の配置例：気の審判が号令を担当します

【判定試合2】（相対評価）

判定試合1が「一本」になったかどうかという絶対評価をするのに対し、判定試合2は二人の試合者のうち、どちらのほうが優っていたかを相対評価し、勝敗を決めます。

この判定方法で試合をすると、剣道部員に勝つ生徒がでてくることとがあり大いに盛り上がりがあります。

はじめに審判の「はじめ」の合図でAの生徒が打突します。この時の打突はメンに限定して二本ずつ打ったり、メン、コテ、ドウを一本ずつ打ったり、指導者が前もって示したものを打ちます。次に審判の「交代、はじめ」の合図でBの生徒が打突をします。最後に両者の打突が終わった時点で二人とも開始線に戻り、審判が「判定」と言ったところで三人の審判がそれぞれ判定します。自分が担当している観点について優っていた生徒の方にカードを上げます。その結果三対〇か二対一でどちらかが勝ちますので「勝負あり」と宣告し終わります。

この試合方法を説明する際、気をつけなければならない点があります。判定の際、何をもって優劣をつけるのかということです。特に生徒が迷いやすいのが「体」の判定についてです。「体」とは本来なら「適正な姿勢」ですが、剣道未経験の生徒にとって姿勢の良さで優劣をつけるということは大変難しいことです。そこで、「体」

の体さばき足さばきの観点から「いかに速く足さばきできていたか」ということを明示する方法があります。つまり、すり足を見てどちらの方が速かったかという判定方法です。この方法で試合を行うと、姿勢と比べて優劣がつけやすく、試合者もすり足が遅かったということが理解でき、次の試合への課題意識をもちやすくなります。



ふり返り場面：次の試合にいかすヒントが見つかります

この判定試合2で大事なものは、試合の後に試合者と審判が集まって、試合のふり返りをする事です。

三人の審判が自分の担当している観点について優っていると判断した理由を試合者に伝えることで、試合者は自分の打突をふり返るとともに、次の試合に向けて課題意識をもつことができます。例えば、剣の審判から「AもBもどちらも打突部で打っていたけど、Aの方が竹刀に勢いがあっていい音が出たのでAに上げた」という意見が出れば、Bの試合者は次の試合での課題意識をもつことができます。他にも「体」の審判から「打突の足さばきの速さは同じくらいだったけど、残心の場面でBの方がより速く構えができていた。」という意見が出れば、Aの試合者はより速く構えようとしています。さらに、審判の生徒も自分自身が試合をする時に課題意識をもつことができます。

このように、判定試合によって技の出来を確認したり、友達と競ったりすることで「一本」への意欲の向上を図ることが出来ます。そして、生徒の実態に応じて課題の技を変えたり、審判の観点を工夫したりすることで、より活性化することが期待できます。

「全国大会等の記録」(7~12月)

◎ **全日本都道府県対抗女子剣道大会**

- 7月16日 日本武道館
- ▽1回戦 石川①―0宮城
- ▽2回戦 石川①―②東京

◎ **全日本少年少女武道(剣道)錬成大会**

- 7月23・24日 日本武道館
- ◇大会2日目
- ▽第2ブロック優良賞 新化館
- ▽第3ブロック優良賞 かほく剣友会
- ▽第8ブロック敢闘賞 かほく道場

◎ **第51回全国道場少年剣道大会**

- 7月26・27日 日本武道館
- ◇小学生団体
- ▽第12試合場 2位 新化館
- ◇中学生団体
- ▽第6試合場 1位 新化館

◎ **全国高校総体(インターハイ)**

- 8月2~5日 ジップアリーナ岡山
- ◇男子団体 予選リーグ 桜丘3位
- 金沢桜丘①―②岡山興譲館
- 金沢桜丘①―③小祿(沖繩)
- ◇女子団体 予選リーグ 金沢2位
- 金沢②―①東海大相模
- 金沢①―④中村学園女子
- ◇男子個人
- ▽1回戦
- 中越(桜丘)―メ浅原(崇徳)

中川(金沢)―ド飯塚(大社)

- ◇女子個人
- ▽1回戦
- 高木(桜丘)―コ桑島(福知山成美)
- 横井(金沢)―メ下田代(鳳凰)

◎ **第58回全国教職員剣道大会**

- 8月9日(火) 沖縄県立武道館
- ◇団体1回戦 石川①―①長崎
- ◇個人
- ▽高大・教久保ベスト8
- 4回戦 久保―コ林田(福井)
- ▽幼・義務教育 本吉ベスト16
- 3回戦 本吉―コ対馬(滋賀)
- ▽女子
- 1回戦 土田―メ下川(鹿児島)

◎ **第46回全国中学校剣道大会**

- 8月19~21日 長野ホワイトリング
- ◇男子団体 予選リーグ2位
- 城南②―①神戸(三重)
- 城南②―③栄進(埼玉)
- ◇女子団体 予選リーグ1位
- 宇ノ気①―①〇郡山(奈良)
- 宇ノ気②―①〇東予東(愛媛)
- ▽決勝T1回戦
- 宇ノ気②(本教)2那賀川(徳島)
- ▽準々決勝
- 宇ノ気1(代表)①潮田(神奈川)
- 宇ノ気中ベスト8

◇男子個人

1 回戦

山田(城南)―コ奥田(国士館)

2 回戦

北井(宇ノ気)メー藤田(有明)

3 回戦

北井―メ宮崎(大垣東)

◇女子個人

1 回戦

藤井(芦城)―コ竹下(嘉手納)

2 回戦

松田(羽咋)―コ吉村(垂水中央)

◎第37回北信越国体剣道大会

8月28日(日)長野県大町市

◇少年男子 3勝1敗 2位 石川

◇少年女子 3勝1敗 3位 石川

◇成年女子 3勝1敗 1位 石川

8年ぶり本国体(岩手)へ

◎第55回全日本女子選手権大会

9月11日(日)長野ホワイトリング

1 回戦 澤田メー福間(島根)

2 回戦 澤田メー柴田(東京)

3 回戦 澤田―メ竹村(岐阜)

◎第62回全日本東西対抗剣道大会

9月18日(日)郡山総合体育館

副将 末平コー江口(大分)

優秀試合賞 受賞

◎第11回全日本都道府県対抗少年

9月18日(日)府民共済スーパアリーナ

◇小学生の部 石川県 3位

予選リーグ 1位

決勝 T

1 回戦 石川①(代表) 1 鹿児島

準々決勝 石川④―①徳島

準決勝 石川①―②福岡

◇中学生の部 石川県ベスト16

予選リーグ 1位

決勝 T

1 回戦 石川①(代表)①奈良

◎第61回国民体育大会(岩手)

10月8〜10日二戸市総合SC

◇成年女子 1回戦 石川0―②鹿児島

先 森田―メ和田

中 齋藤―ド下川

大 荒川(引分)西

◇成年男子 2回戦 石川0―⑤愛知

先 藤井―コ中村

次 篠井―メ木谷

中 宮城島―ツ加藤

副 杉本―メ山下

大 本橋―メ東

◎第34回全国道場少年剣道選手権

10月9日 広島サンプラザ

◇中学生男子の部 山田幸之介 3位

準決勝 山田―メ加藤(島根)

◇中学生女子の部 横山 令 3位

準決勝 横山―メ笠(福岡)

◎第29回全国健康福祉祭剣道

10月15〜17日 長崎県五島市

▽予選第7ブロック 2位

石川③―①福島

石川①(本数)①鳥取

◎第51回全日本居合道大会

10月22日(土)東京武道館

◇五段 1回戦 北川0―③坂本(兵庫)

◇六段 1回戦 中村③―①切田(岩手)

2 回戦 中村②―①山下(滋賀)

3 回戦 中村①―②森根(沖縄)

◇七段 1回戦 作田0―③永田(熊本)

◎第64回全日本剣道選手権大会

11月3日(祝) 日本武道館

1 回戦 篠井―メ真田(鳥取)

中央審査会合格者

◇剣道

▽七段 山田昌宏 星野敏之

寺西清志 羽佐間裕

表克寿 加地伸弥

上村康夫

▽六段 山本重之 井上敬三

牧富雄 北川信之

村山次哉

▽教士 山本重之 井上敬三

牧富雄 北川信之

村山次哉

▽居合道 山口春夫

▽七段 北川裕美子

▽六段 稲元国道

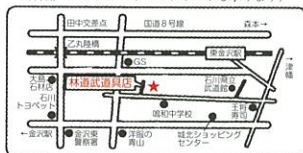
▽錬士

林藤武道具店

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1番地83
Tel.076-252-2220 Fax.076-252-2240
HP <http://www.rindoubudou.jp/>
E-mail: budou@chive.ocn.ne.jp

●定休日/月曜日

【営業科目】
剣道・柔道・空手・なぎなた・武道具全般
(刺繍・セツケン・ネームプリントも承ります)



武道具の ハシモト

金沢市上荒屋7丁目67 TEL 249-8233
〒921-8065 FAX 249-9139